

授業改善推進プラン<社会科>

社会科における昨年度の授業改善推進プランの検証

<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図を積極的に扱い見方を指導するとともに、教室内に地図を掲示するなど日常的に地図にふれさせるようにしてきた。その結果、地図を読み取る力や区や県や国についての知識理解が深まってきている。 ○資料の読み取り方に力を入れ、分かった事を整理し、そこから考えられることを表現させ、全員が共有できるような授業を行ってきた。その結果、一つの資料をていねいに読み取り、事実を根拠に考察できる力が付いてきている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料の読み取りについて、複数の資料（地図記号と方位やグラフと年表など）を読み取ったの考察が困難な実態がある。引き続き、資料の読み取り方をパターン化し習慣付け、正確に読み取れるようにしていく。また、資料の読み取りやその関連が視覚的に分かるよう、矢印や丸で囲み、事実関係を文章表現するなどの指導をしていく。 ●必要な社会科用語をしっかりと理解できていない現状がある。単に言葉を強調するだけでなく、授業のまとめをする際に、その用語を使って児童自身が説明するまとめを行い、用語とその意味の理解を深める。

社会科における調査結果の分析

	学 年	○校内平均が目標値に対して上回っている 領域と内容 ●校内平均が目標値に対して下回っている 領域と内容		考 察
内容別結果の分析	4 年 生	地域や市の様子	市の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用や建物の地図記号をよく理解している。 ●生産の仕事の工程について読み取ることに課題がある。 ●買い物調べの結果をグラフにまとめることに課題がある。 ○販売の仕事に見られる工夫について、写真をもとに考えている。 ○販売の仕方に見られる工夫について考え、表現している。 ●商品の仕入れに見られる国内の他地域や外国との関わりについて、資料を読み取ることに課題がある。 ○交通事故の発生件数について、資料を読み取っている。 ○安全マップに着目して、交通事故から人を守るための設備の目的について考えている。 ●子ども110番の家についての理解に課題がある。 ○人々のくらしの様子の変化について理解している。
		生産や販売	工場の仕事 買い物調べ 店ではたらく人	
		安全を守る働き	安全なくらし －火事 －事故や事件	
		市の様子や移り変わり	くらしの移り変わり	

5 年 生	都道府県の様子	都道府県の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県の位置と名称を理解している。 ○県の交通の様子について、地図を読み取っている。 ○八方位の理解をもとに、地図を読み取っている。 ●県の人口について、地形の様子と関連づけて考え、表現することに課題がある。 ○水質検査について理解している。 ●飲料水の確保のために、ダムが建設されていることについての理解に課題がある。 ○廃棄物の処理にかかわる課題について、資料を読み取っている。 ●地震への備えについて、資料を読み取ることに課題がある。
	生活環境を支える活動 自然災害から暮らしを守る活動 伝統や文化・先人の働き 特色ある地域の様子	くらしをささえる水 ごみのしよりと利用 自然災害から暮らしを守る —地震 先人の働き 特色ある地域の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○資料に基づいて、琵琶湖疏水の工事にかかわる苦心や努力について、資料を読み取っている。 ○伝統的な技術を生かした工業を受け継いでいくことについて、資料をもとに考えている。
6 年 生	国土の自然などの様子	世界の中の国土	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の領土の範囲や六大陸の名称とそこに位置する国の国旗についての理解に課題がある。 ●日本の主な地形の名称と位置、気候やそのくらしについての理解に課題がある。 ○品種改良について理解している。 ○日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。 ●さいばい漁業の利点について、資料をもとに考えることに課題がある。 ●輸入などの外国との関わりにおける課題について考えることに課題がある。
	農業や水産業 工業生産 産業と情報との関わり 国土の自然環境と国民生活	日本の国土と人々のくらし 日本の農業 水産業 日本の食料生産 自動車をつくる工業 日本の工業生産 情報を生かした産業 自然環境と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車の製造工程についての理解に課題がある。 ○日本の主な工業地帯・工業地域について理解している。 ○さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。 ●日本の主な輸出品・輸入品についての理解に課題がある。 ●産業における情報活用の現状について考え表現することに課題がある。 ○森林を守るための間伐について理解している。 ○自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることについて、資料をもとに考えている。 ●公害についての理解に課題がある。

観点別結果の分析	課題のある観点領域	
	4年生	●知識・技能において目標値とほぼ同じである。思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度において目標値を上回っている。
	5年生	●知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、どの観点においても目標値を上回っている。
	6年生	●知識・技能、思考・判断・表現において目標値を下回っている。主体的に学習に取り組む態度において目標値を上回っている。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 社会科用語や知識の定着を図る。
- 2 資料の読み取り方のパターン化と習慣付けを図る。
- 3 複数の資料の読み取りによる考察や自分の考えを表現する力の向上を図る。

社会科の授業改善策

- 1 知識・理解の定着を図るために
 - ・社会科用語は意味をしっかりと押さえ、板書で強調する。
 - ・毎時間、前時の振り返りを用語やその意味を提示するなどして行い、本時の学習に入る。
 - ・授業のまとめの際、キーワード（社会科用語/教科書では「ことば」として示されている）を使って児童がまとめの文を書くことで、用語を使って説明をする力をつける。
 - ・東京ベーシックドリルやドリルパークを繰り返し活用し、東京の区市町村・地形、都道府県の位置を理解させる。
- 2 資料の正確な読み取りを図るために
 - ・地図の見方の指導（地図記号や方位など複数の知識を関連させて）を中学年から行っていく。
 - ・東京ベーシックドリルを活用し、地図資料の読み取り問題に取り組む。
 - ・資料の読み取り方の手順をパターン化する。
 - 【例】グラフの場合
 - ①グラフのタイトル→②出典と発行年→③縦軸と横軸→④全体はどのように変化しているか→⑤変化はどこが大きくて、どこが小さいかを毎回読み取りの手順として示し、習慣付けていく。
 - ・個人で読み取る時間とグループや全体で共有する時間の両方を確保する。
 - ・教科書の資料だけでなく、教師の意図した資料や資料集の資料などを使って類題に取り組み、自力で読み取る練習を行う。
- 3 資料の考察や自分の考えを表現する力の向上のために
 - ・グループ内での発表やペアでの発表、タブレットによる考えの共有など一人一人が発表する場を多く作る。
 - ・複数の資料や、資料と社会的事象を関連付けながら考えを構築できるようにする。
 - ・資料から読み取ったこと(事実)を資料に書き込む習慣を付け、考えの根拠を明確に捉えることで、安心して発表などの表現ができるようにする。